

製品名: CD38 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21443**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:34kD;Observed MW:45kD

抗原情報

遺伝子名	CD38
別名	CD38;ADP-ribosyl cyclase 1;Cyclic ADP-ribose hydrolase 1;cADPr hydrolase 1;T10;CD antigen CD38
遺伝子 ID	952.0
SwissProt ID	P28907
免疫原	ヒト CD38 の合成ペプチド

背景

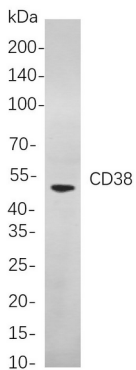
細胞局在: 膜。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、細胞内カルシウムイオン動員メッセンジャーである環状アデノシン

5'-二リン酸リボースを合成・加水分解する、系統非依存型の II 型膜貫通糖タンパク質である。可溶性タンパク質の放出と膜結合タンパク質の細胞内移行能は、このタンパク質の細胞外および細胞内機能の両方を示している。このタンパク質は、N 末端細胞質側鎖、単一の膜貫通ドメイン、および 4 つの N-グリコシル化部位を有する C 末端細胞外領域を有する。結晶構造解析により、この機能分子は二量体であり、中央部分に触媒部位が含まれていることが示された。慢性リンパ性白血病患者の予後マーカーとして用いられている。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じる。[RefSeq 提供、2015 年 9 月]

研究分野

-

画像データ



CD38 ウサギ mAb を用いたマウス脾臓細胞ライセートのウェスタンブロット解析。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。